

# 令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 音楽 】  
発行者名 【 教育出版 】  
教科書名 【 小学音楽 音楽のおくりもの 】

<b>観点1 教科目標の達成及び題材の構成・配列等</b>
(1) 生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容及び学習活動を仕組むことができる教材が、6年間に系統的に配置されている。 (2) 学校のカリキュラム等に応じて、柔軟に選択できる教材が各学年に配置されている。 (3) 前学年の学びを生かせるように、次の学年に関連した発展的な教材が配置されている。 (4) 共通事項で示された「音楽を形づくっている要素」が教科書右上に明示されており、音楽的な見方・考え方を働かせ、思考・判断しながら表現を深めていくことができる。
<b>観点2 内容や指導の充実</b>
(1) 「まなびナビ」「学び合う音楽」「学びのプロセス」等のコーナーが配置されている。学習の進め方や、そのときのポイントがまとめられており、子どもが主体的に学習を進めていく際のヒントとなるように、配慮されている。 (2) 生きて働く「知識・技能」習得のために、音楽構造を図で表示する等視覚的に分かりやすく提示されており、曲想と構造などのかかわりに気付きやすい配慮がある。また、鍵盤ハーモニカやリコーダーの楽曲が配置されており、継続的に技能の習得をすることができるように、リズム、音域、歌詞等、各学年にふさわしい教材曲が配置されている。 (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「もっとあそぼう」のコーナーがあり、基礎・基本的な知識・技能を生かしてさらに豊かな表現を求めながら、自分の思いや意図に合う表現を考え、工夫できる内容になっている。 (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養をめざすために、友達と一緒に表現できる教材や、活動内容の例示がある。
<b>観点3 利便性の向上</b>
(1) 教材曲の楽譜、それに関する絵や写真、題材名、音楽のもと（共通事項）、新出事項等が整理して提示されて見やすい。 (2) 他教科等の学習や季節・行事等と関連させて学習効果を高めることができるよう、「音楽ランド」で多種多様な楽曲が選定されている。 (3) 楽譜については、発達の段階に応じて、絵や図に近い図系譜から次第に五線譜へ移行されており、子どもが無理なく読譜や記譜ができるよう配慮がされている。 (4) 特に鍵盤ハーモニカやリコーダー等の器楽の技能習得については、楽器の置き方や演奏の仕方等の場面を写真等で大きく分かりやすく提示してある。 (5) 曲のイメージを膨らませたり、その手助けになったりするような写真やイラストを、発達の段階に応じて使っている。 (6) 音楽を形づくっている要素について、発達の段階に応じたことばやイラストを用いて、分かりやすくまとめられている。 (7) QRコードにアクセスして、学習内容等をふりかえることができるようになっている。 (8) 3年生以上はサイズが大きくなっていて、資料等も見やすくなっている。また、サイズは大きくなったがこれまでの教科書よりも軽量化されている。
<b>観点4 地域の教育の特色や児童の実態等</b>
(1) 4年生から和楽器を使った教材が取り扱われ、我が国や郷土の音楽にふれることができる。また、諸外国の伝統的な音楽と関連づけたり、比較したりできるような題材構成、教材曲の配置になっている。 (2) 今の子どもたちの生活に根ざした曲だけではなく、日本の自然や季節、昔の日本の様子や暮らしを想像しやすい曲も選曲され、音楽をとおして我が国の生活や文化を見つめることができるようになっている。